

“わかりやすい!”をモットーに  
神戸市政に関わる  
トピックをお伝えします!

# かわなみ

ただかす  
《中央区》

## 神戸の中小企業を大切に

今回の  
報告

『地元でできる仕事は地元業者に!』  
競争入札に関する質疑をしました

※以下、令和4年11月30日 総務財政委員会での質疑抜粋・要約

### かわなみ質疑

#### 指名競争入札に辞退が多いことについて

民間の仕事が大変繁忙であるということの理由や、入札に人員を割くことができないという声や、一方で、業界団体側からすれば、分離・分割になっておらず、入札を辞退せざるを得ないというような話も耳にしますが?



令和4年11月30日、総務財政委員会にて

これまでも分離・分割発注の推進を主張してきましたが、定期的に神戸市の各種業界団体と意見交換をする中で、まだまだ改善いただきたいという声をお聞きし、河南(かわなみ)が質疑させていただいた内容を報告します。

### 市 西尾行財政局長からの回答

1つの原因により辞退が発生するというのではなく、例えば、時期や民間との工事の競合など、様々な要因の中、我々もできるだけ平準化をする中で、年度の一時期に集中しないような発注の仕方を心がけているところですが、残念ながら、辞退される事業者さんがあるのは事実。我々としても公平性と公正性を担保しながら、今後も地元の事業者さんを指名させていただき、できるだけ辞退を招かないような発注方法、契約方法、こういったものを検討してまいります。

別の視点では、発注、契約の公募をかけたが、応札がないことについては、神戸市はかなり高い率になっています。これも原因が様々あるかと思えます。監督者の数が不足しているなども含めて、発注方法の見直しについて内部的な議論をしているところです。できるだけ地元事業者に応札いただけるような発注方法を検討してまいります。

### かわなみ質疑

#### 落札できなかった場合、次の同様の入札には声がかからないことについて

落札できなかった業者さんが、次の同様の入札には声がかからないという話も聞きます。残念ながら取れなかった会社に対しても、次回入札に関してチャンスを与えるということをお願いしたいのですが、どうなっているのでしょうか?

### 市 西尾行財政局長からの回答

次に同種の入札公募をかけ得るときは、ご指摘のように、その事業者さんを外すということになっています。これは数多くいらっしゃる事業者さんにできるだけ多く「参加する機会」を公平にお配りしたいという気持ちから、そのような取組をしています。

一方、同一業種、同一の契約内容とあり、特定の事業者さんに偏った指名をかけてしまうと、談合であるとか、そういったものにつながりかねないこともあり、リスクヘッジもあり、指名については次回は外れていただき、違う事業者さんの参入を促すといった取組をしているところです。

かわなみ  
要望

2番札、3番札だった業者は「偏ってしまうから」という理由で次のチャンスから外されてしまうと、ファイティングポーズを取りたくても取ることもできません。果たしてこれが正しいかどうか?何か考えられそうなものなのか?神戸市の中で今一度、考えていただくことを要望します。

今、直ちに回答があるわけではないですが、1つの例を申し上げれば、地元に限っては、競争入札にしてしまう方法があります。ただ、業界団体の方々がどう受け止められるかということも、我々としては注意深く見守っていく必要があるため、そのあたりを踏まえて検討していきたいと考えます。



官公庁入札における“契約形式”は、大きく3つに分類することができます

- ◆一般競争契約 …… 希望者すべてを入札に参加させる
- ◆指名競争契約 …… 契約特定の条件により発注者側が指名した者同士で競争
- ◆随意契約 …… 競争入札によらずに任意(随意)で決定した相手と契約

中小企業者に受注のチャンスが増える「分離・分割発注」

- ◆分離発注 …… 公共工事の工程や工区を細分化して、多数の業者に発注
- ◆分割発注 …… 規模の大きな工事のときに実施される発注方式(例/1kmの道路工事を発注する際、100m単位で分割発注する)

かわなみ  
MEMO

### かわなみ質疑

#### 分離・分割発注について

発注する側は、分離するより一括で仕事を出したほうがスムーズですが、神戸の中小企業にとっては、下請にならず、その業務を入札で取りたいという気持ちがあります。これまでも神戸市はその努力をなさっているとは思いますが、きめ細やかに業界の声をお聞きしながら、分離・分割発注に努めていただきたいと思います。いかがでしょうか?



### 市 西尾行財政局長からの回答

官公需法の中で決められました中小企業に関する国等の契約の基本方針の中で、国のほうからも分離・分割発注が求められています。以前から、地元事業者の皆さまにどういう形で仕事をお任せするかということで、分離・分割発注に取り組んできたところです。

その結果、工事請負契約では、件数ベースで申し上げると、令和3年度になりますが、90.4%が「地元企業が受注」という、かなり高率でお受けいただいていると思っています。

今後につきましても、業界団体の意見を聞かせていただきながら、「こういった形で発注をかけることが、地元企業の受注につながるのか」を常に研究させていただきながら対応していきたいと考えています。

## 公共工事にも地産地消を

公共工事も、私たちの税金と仕事と、お金を回転させることによって、地域経済の活性化につながります。PFIやデザインビルドなど様々な入札の方法が生まれる中で、一括で大手企業に任すことが必要な場合もあるかもしれませんが、これまで以上に分離・分割、神戸の中小企業を大切にさせていただくことを、よろしくお願いいたします。

かわなみ  
MEMO

- ◆PFI…公共施設等の建設、維持管理、運営等を、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方法
- ◆デザインビルド…設計と施工の両方を単一業者に一括して発注する方式



令和4年の予算特別委員会(2022年3月7日)に、河南(かわなみ)が神戸市経済観光局に質疑、要望しました『布引の滝の案内看板』の設置が実現しました!  
日本三大神滝と言われている『布引の滝』について、地元の方にも、観光に訪れてくださった方にも、より詳しく知っていただけるようになったことを報告します。



今回の  
報告

# 布引の滝に案内看板が設置されました

## 雄滝 おんたき

「雄滝」は高さ43mから流れおちる  
壮大かつ神秘的な景色が楽しめます。



▲看板設置前の雄滝前



▲看板設置後の雄滝前

設置された11月25日(金)以降に、早速現地へ確認へ。  
実際の看板作成にあたっては、盤面構成や表記等に関する  
アドバイス等もさせていただいたのですが、  
**よりわかりやすいロードマップ、地図に距離の記載、  
説明文の英語表記、QRコードからWEBサイトとの連携など**  
の意見も反映いただきました。



## 雌滝 めんたき

雌滝は美しい2段の滝で、豪快な雄滝とは一味違った  
優美で上品な風情を楽しむことができます。



お手洗いの場所も地図に載っていて  
安心して散策が楽しめます!



QRコードを読み取ると、「神戸の山と自然」を楽しむWEBサイトへ  
※現地の看板に記載のQRコードの読み取り先は、右のQRコードからも  
アクセス出来ます。新神戸駅から神戸布引ハーブ園へのおすすめルートや  
名所案内がWEBで紹介されています。(令和4年12月現在)  
<https://kobe-rokko.jp/mtrokko/nunobiki>

## 令和4年3月、河南(かわなみ)から経済観光局へ質疑しました

※以下、令和4年3月7日 予算特別委員会での質疑抜粋



令和4年3月7日 予算特別委員会

### かわなみ 質疑

JR新神戸駅からわずか徒歩  
10分程度という立地にも大変  
恵まれた『神戸を代表する観  
光スポットの1つ』であるが、  
北野の異人館や旧居留地、メ  
リケンパークなどに比べると、  
全国的な知名度はまだまだ  
高くないと感じる。近場で  
自然を感じる観光スポットが  
人気を集めている今こそ、  
**布引の滝のプロモーションを  
強化していただきたい。**

### 末若経済観光局担当部長 からの答弁

周辺には幾つか看板があるが、  
まさに滝を望むデッキのと  
ころに今看板が無い状況。看板  
の設置について調整を始める。  
プロモーションと相乗効果を  
十分発揮できるように、内容  
やデザインも工夫しながら、  
**設置に向けて関係局と調整を  
行っていく。**

### かわなみ 要望

観光スポットにふさわしい  
**『布引の滝』の看板設置を要望**

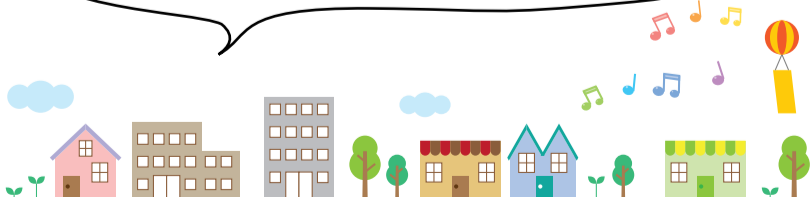
## 実現!

令和4年11月25日(金)  
看板が設置されました!



3月の質疑について  
かわなみ市政報告38号でも報告

道路整備や街の美化、公園、交通機関など  
暮らしの中で気になるチョット不便に思うこと、  
お住まいの地域のこともぜひお聞かせ下さい。



### かわなみの ひとこと



『神戸の魅力発信として、布引の滝をもっと有効活用する  
と良いのでは?』と地域の方からご意見をお聞きしてい  
ました。私自身も布引の滝へよく行きますが、看板が無  
いと気になっており、3月に質疑をさせていただき実現  
しました。これからも、暮らしや地域の気になることを、  
神戸市に届けてまいります。

